



熊谷市 記者クラブ取材情報

平成30年10月25日発表
担当課:熊谷市教育委員会
社会教育課

事業の名称等

平成30年度 熊谷市文化功労者・教育関係職員表彰式

1. 日時 平成30年11月3日(土・祝) 10時00分~

2. 場所 熊谷市立大里生涯学習センター あすねっと

3. 事業概要

<事業内容>

式典

- ・文化功労者3名 栗崎 浩一路 氏(文化 72歳)
野上 宏一 氏(学校教育・学術 76歳)
船田 昭介 氏(体育 78歳)

- ・教育関係職員表彰者 12名(学校教職員9名、学校歯科医1名、学校医2名)
(熊谷市内在勤15年以上で勤務成績が良好である者)

<目的>

- ・文化功労者:教育・学術・文化・体育の振興について特に功績が顕著である方を表彰する。
- ・教育関係職員表彰:熊谷市内在勤15年以上で勤務成績が良好である者を表彰する。

<影響・効果>

- ・文化功労者:文化活動を行っている方の励みになり、文化活動の振興に資することになる。
- ・教育関係職員表彰:教育関係職員の励みになり、教育の振興に資する。

4. 特徴やPRポイント

5. その他

<主催者>

熊谷市教育委員会
代表者 野原 晃

<連絡先>

048-524-1111 内線(394)

資料の有無(有・無)

担当者 熊谷市教育委員会社会教育課 島原、水野

連絡先 TEL 048-524-1111 内線(394) shakaikyoiku@city.kumagaya.lg.jp

熊谷市文化功労者

くり さき こういち る 氏（ 7 2 歳 ）
熊谷市銀座

氏は、永年にわたり書家として後進の指導育成に尽力するとともに、熊谷市書人連盟会長、熊谷市美術家協会会長、埼玉県書道人連盟会長として、熊谷市書道展、同美術展、埼玉書道展、同県展等の運営に携わり、審査員を歴任し、書道技術の向上、書道芸術の普及に貢献され、これらの功績により、平成 2 5 年度には「文化ともしび賞」を埼玉県知事から授与されました。

平成 1 4 年に埼玉県書道人連盟理事長として、埼玉県と中国山西省の友好県省締結 2 0 周年記念の交流事業「中日書法交流展」を中国太原市の山西省博物館で開催し、友好訪中副団長として訪中し、両県省の親善に努められました。

熊谷市書人連盟会長として、市民が気軽に書に親しみ、書作品を鑑賞できるよう、平成 2 2 年からは、うちわや年賀状に書いた会員の作品展示、絵手紙講習会の開催、また、平成 2 4 年からは、市内の病院、店舗等に会員の作品を展示する「まちかど書展」を企画実施するなど、書を通じて本市の芸術文化活動の向上・発展に寄与されています。

このように、卓越した指導力と企画力により、本市を中心とした地域文化の発展に大きく貢献した功績は誠に顕著であります。

熊谷市文化功労者

の がみ こう いち
野 上 宏 一 氏（76歳）
熊谷市銀座

氏は、44年の長きにわたり、小・中学校、高等学校、養護学校の学校歯科医として児童・生徒及び教職員の歯と口の健康保持・増進を図るとともに、定期健康診断、健康相談、生活指導等において専門的な立場から適切な助言や指導を行い、学校保健活動の充実・発展に貢献されました。

埼玉県歯科医師会の要職を歴任し、昭和56年には、熊谷市歯学研究会を発足させるなど、熊谷市歯科医師会会員の歯科医学及び歯科医術の進歩発展に尽力され、歯科医療に関する知識や技術の牽引者として活躍されています。

平成7年には、熊谷市歯科医師会会長に就任し、熊谷市高齢者サービス調整チーム副委員長として、他市に先駆け、歯科訪問診療事業を立ち上げ、要介護者への歯科医療の提供と生活の質の向上に貢献されました。また、長年にわたり、熊谷市休日・夜間急患診療所の協力医として執務され、熊谷市の救急体制を向上させるとともに、熊谷市母子保健事業の乳幼児検診に執務するなど、地域医療の向上に尽力されています。

このように、本市の発展と市民の保健・医療及び福祉の増進に大きく貢献した功績は、誠に顕著であります。

熊谷市文化功労者

ふな だ あき すけ 氏（ 7 8 歳 ）
船 田 昭 介
熊谷市日向

氏は、長きにわたり県立高校の教諭として、一貫して水泳部の顧問を務め、多くの生徒を各種大会へ出場させるなど、高い指導力を発揮しました。

熊谷市水泳連盟会長等を歴任し、現在は、名誉会長として、子供たちの体力向上と健全育成、市民の健康増進に尽力されています。昭和 5 8 年には熊谷市スポーツ教室初心者水泳教室の開設、昭和 5 9 年には、小学生から一般、高齢者までの誰もが参加できる市民水泳大会を企画運営、市民に親しまれる大会に発展させるなど、水泳の普及、発展に尽力されました。

また、熊谷市体育協会の評議員として平成 2 6 年には、体育協会の公益財団法人化の実現に貢献し、協会の健全な発展に寄与しました。

一般社団法人埼玉県水泳連盟会長をはじめ同連盟の要職を歴任し、彩の国まごころ国体夏季大会では強化委員長として、大会成功に貢献されました。さらに、日本水泳連盟日韓交流事業の監督や日本水泳連盟ジュニアブロックシンガポール遠征の日本選手団団長など、卓越したリーダーシップをもって、広く水泳競技の普及、発展と競技力の向上にも貢献されました。

このように、水泳を通してスポーツの振興、発展に尽力し、市民の健康や生きがい、豊かさを実感できる市民生活の構築に寄与された功績は誠に顕著であります。